

# バリアフリー施設等データ整備実証

---

令和7年12月  
政策統括官付



今年度改修するバリアフリー施設等データ整備システムを用いて、バリアフリー施設等データ整備仕様(案)に基づき、自治体職員やボランティア等によるデータ整備等の運用方針やシステム機能面を検討するためのデータ整備実証を実施。

## 実施概要

目的	バリアフリー施設等データの普及促進に向け、自治体、ボランティア等を対象とした実証を行い、データ整備等の運用方針やシステムの改良点の課題を整理
実施事項	自治体職員及び市民(ボランティア等)により、以下の項目を実施 <ul style="list-style-type: none"><li>自治体が保有している既存情報のシステムへの取込み及び編集によるデータ整備(取込みは事務局による技術検証、編集は自治体職員による実証)</li><li>トイレ、エレベーター等の写真からの設備情報の抽出によるデータの簡易入力(自治体職員・ボランティアによる実証)</li></ul>
場所	大阪府豊中市※、大阪府池田市※
時期	11月26日(水) 大阪府豊中市 11月27日(木) 大阪府池田市

## 検証事項(実証イメージ)

### ■既存の施設情報を用いたデータ整備



- 既存の施設情報等をもとに、生成AIを用いてバリアフリー施設等データ整備仕様(案)に合わせたデータ整備を実施
- システムの機能性・操作性、日常業務において効率よくデータ整備するための工夫点等を確認

### ■写真からのバリアフリー情報抽出によるデータ整備



車椅子使用者用トイレ  
オストメイト



乳幼児用椅子  
大型ベット

- 生成AIを用いて、撮影した写真から設備情報を抽出するデータ整備を実施
- システムの機能性・操作性、バリアフリー情報を適切に抽出するための写真撮影における工夫点等を確認

※「令和7年度 歩行空間における移動支援サービスに関する現地事業」の公募により選定

各自治体が保有する既存の施設データ等を収集の上、事務局にて生成AIを用いてデータの取込みを実施。現地実証にて、自治体職員やボランティアがシステムを使用し、生成AIを用いた写真の画像解析によるデータの作成・編集を実施。

## ①全体計画立案

計画書作成

## ②実施体制構築

本実証の実施体制の構築

## ③データのリストアップ・収集

バリアフリー施設等データのうち整備する情報項目の確認と、庁内及び関係者が保有する関連データの収集

## ④実証 (データ取込み)

\*事務局による技術検証

収集した自治体固有のフォーマットである既存データのシステムへの取込みに関する技術検証を事務局にて実施

## ⑤現地実証 (データ作成・編集)

\*自治体職員・ボランティアによる現地実証

### ■ 屋内活動

1. 講習 : データ整備仕様(案)やバリアフリー施設等データ整備システムに係る講習
2. データ確認 : システムへ取り込まれた既存データについて、システム(PC版)を用いて確認・編集

### ■ 屋外活動

1. 現地調査 : スマートフォンで対象施設(施設、BFトイレ、等)の写真を撮影
2. データ整備 : 撮影写真をシステム(スマホ版)へアップロードし生成AIによる解析を実施、実際の状況と異なる情報については編集

## ⑥実証結果の整理

実証参加者の意見を踏まえ、システムの機能性・操作性、多様な主体の参画によるデータ整備の可能性、継続的な運用に向けた要件等を整理

## ⑦オープンデータ化

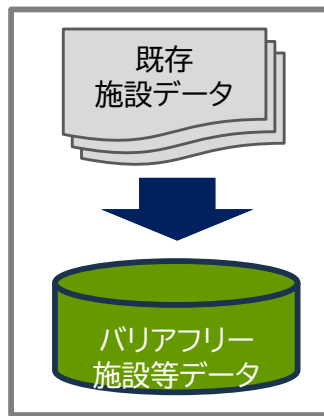
実証で整備したバリアフリー施設等データを、オープンデータとして公開  
\*今年度末に公開予定

# 現地実証の実施手順

自治体職員及びボランティアによるバリアフリー施設等データの整備を、3グループに分かれて実施

## 1. 屋内活動(PC使用)

### ① 既存施設データの取込み



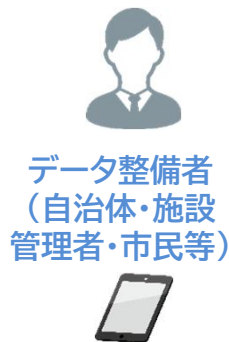
事務局による技術検証

### ② 画像識別による設備情報登録



## 2. 屋外活動(スマートフォン使用)

### ① 位置情報による施設(場所)の特定



- 現在地に応じて周辺の施設を表示し、その中から対象施設を選択する
- 新規施設を登録



### ② 画像識別による設備情報登録

- 対象の施設の写真を撮影してアップロード



AI画像解析によるバリアフリー設備情報抽出

- 写真から抽出できなかった情報を編集する





本実証は、公募により選定された2自治体(大阪府豊中市、大阪府池田市)にて実施。

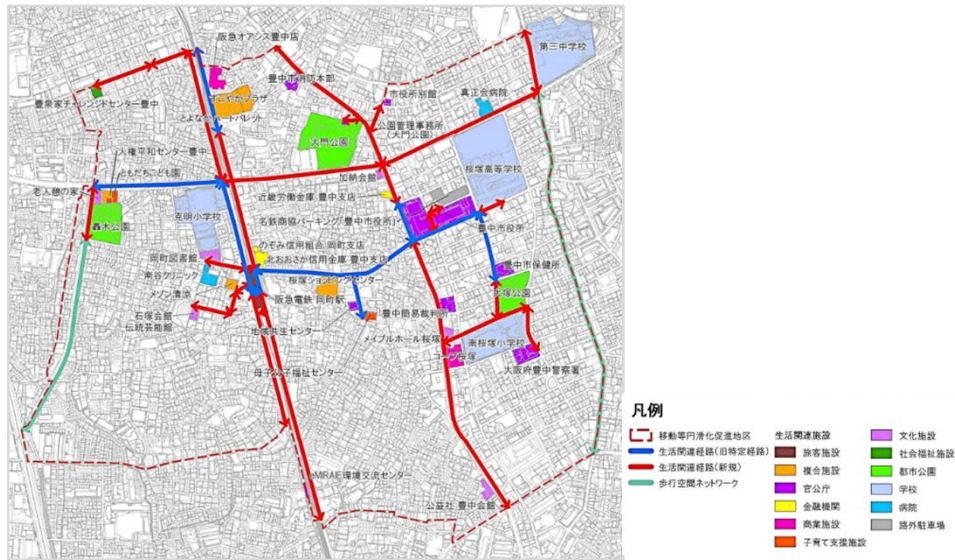
## 大阪府豊中市

### 【現地実証の実施体制】

- 豊中市職員
  - 都市基盤部基盤整備課の職員6名
- ボランティア
  - 同市基盤整備課より募集いただいた2名(うち、車椅子使用者1名)

### 【実施エリア】

- 岡町駅地区
  - 豊中市バリアフリーマスタープランで移動円滑化促進地区に指定
  - 豊中市役所等の公共施設が集積



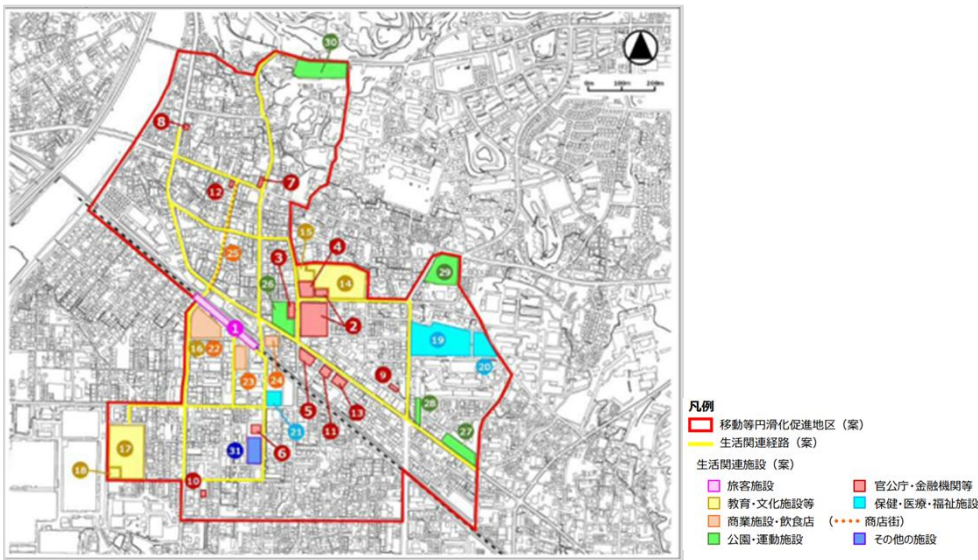
## 大阪府池田市

### 【現地実証の実施体制】

- 池田市職員
  - 都市整備部交通道路課の職員6名
- ボランティア
  - 同市交通道路課より募集いただいた3名

### 【実施エリア】

- 池田駅周辺地区
  - 池田市バリアフリーマスタープランで移動円滑化促進地区に指定
  - 池田市役所等の公共施設が集積



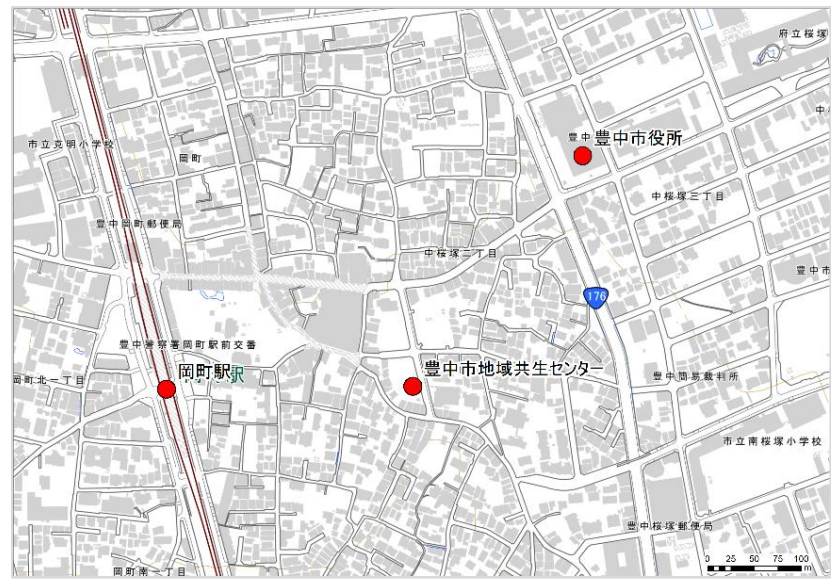


AMに取込みデータの確認・編集、PMに現地(対象施設)にて写真撮影の上、データ編集を実施。

時間	実施項目	内容
10:15	開始の挨拶、実証概要説明	・実証の趣旨、進め方等を説明
10:30	バリアフリー施設等データの説明	・バリアフリー施設等データの構成、実証での整備項目(リストアップ時の検討結果)の説明
10:45	システムの操作説明	・システムの操作方法に関する説明 ・現地調査における留意点等の説明
11:05	実証 (屋内:取込みデータの確認)	・取込みデータの確認、編集(自治体職員)
12:00	昼休憩	—
13:00	PM開始の挨拶、実証概要説明	・実証の趣旨、進め方等を説明(主にボランティア向け)
13:15	実証(屋外:データ編集) *スマートフォンを使用	・対象施設を訪問し、写真撮影をしながらデータ編集を実施 (自治体職員、ボランティア)
15:30	データ確認(屋内) *PCを使用	・屋外実証で自治体職員、ボランティアが編集したデータの確認を実施(自治体職員)
15:50	アンケート記入	・アンケート用紙記入(アンケート記入に当たり、グループ毎に意見交換)
16:30	終了の挨拶	(アンケートの記入が終わり次第実施)

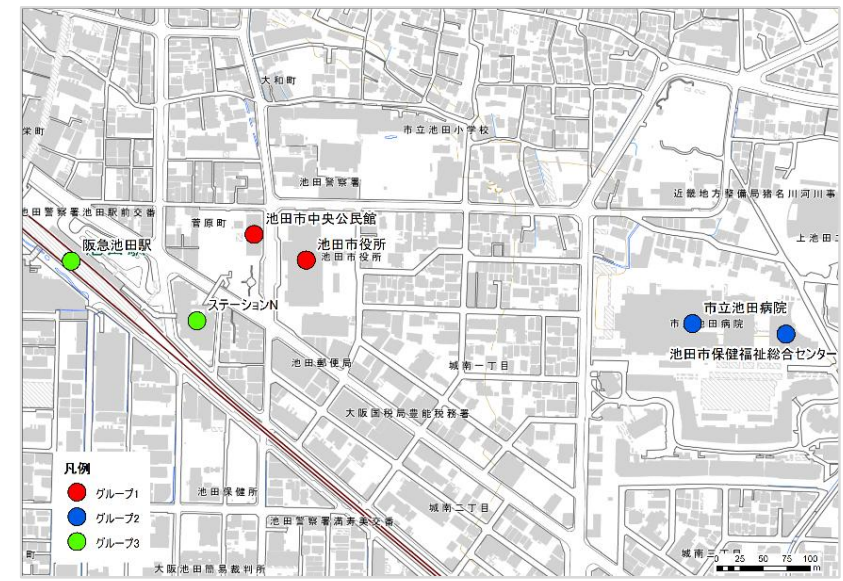
- 3グループに分かれ、対象施設の現地調査とデータ整備を実施。
- 各施設でバリアフリー設備(バリアフリースイレ、バリアフリー対応エレベーター、車椅子利用者用駐車施設等、乳幼児用施設、出入口)の写真を撮影し、AIの画像解析による設備情報の抽出を実施。

## 現地実証の対象施設(豊中市)



グループ	施設名	対象フロア
1	豊中市地域共生センター(東館)	1F～3F
2	豊中市役所(第一庁舎)	1F～3F
3	岡町駅	1F～3F
	豊中市地域共生センター(西館)	1F～3F

## 現地実証の対象施設(池田市)



グループ	施設名	対象フロア
1	池田市役所	1F～2F
	池田中央公民館	1F～3F
2	池田市保健福祉総合センター	1F～4F
	市立池田病院	1F
3	阪急池田駅	1F～3F
	ステーションN	B1F～3F







講習の実施後、既存データの取込み確認とシステムの操作実習を実施。

## 操作説明・実習の様子(豊中市)



## 操作説明・実習の様子(池田市)





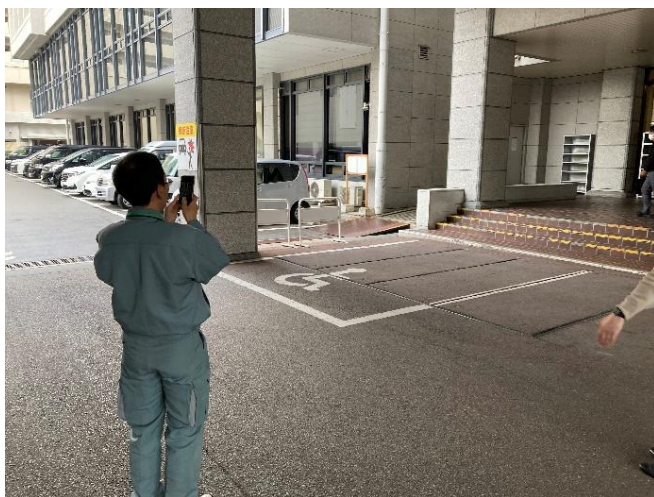
対象施設および施設内のバリアフリー設備について、写真を撮影し、バリアフリー施設等データ整備システムによるバリアフリー情報の抽出、データ編集を実施。

## 実証の様子(豊中市)



対象施設および施設内のバリアフリー設備について、写真を撮影し、バリアフリー施設等データ整備システムによるバリアフリー情報の抽出、データ編集を実施。

## 実証の様子(池田市)





- 現地実証で整備した2市のバリアフリー施設等データは、バリアフリー施設等データ整備システムを使用し、自治体職員が可能な範囲で引き続き追加整備を実施予定(～来年2月)。
- 整備したデータは、今年度末を目途にほこナビDPのオープンデータカタログサイトで公開予定。



ほこナビDP TOP



ほこナビDP オープンデータカタログサイト